



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東名

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	234,654	1.7	19,592	△1.8	25,575	1.2	15,787	△4.5
26年3月期第3四半期	230,749	10.5	19,944	343.9	25,267	221.1	16,537	629.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 44,319百万円 (△1.5%) 26年3月期第3四半期 45,014百万円 (302.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	114.33	—
26年3月期第3四半期	119.76	119.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	533,121	362,370	67.2	2,595.93
26年3月期	462,113	322,562	68.9	2,305.93

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 358,461百万円 26年3月期 318,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	1.5	22,000	△6.2	26,000	△8.5	14,500	△17.0	105.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	150,860,557 株	26年3月期	150,860,557 株
27年3月期3Q	12,774,735 株	26年3月期	12,773,301 株
27年3月期3Q	138,086,507 株	26年3月期3Q	138,088,853 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、好調な米国を中心に回復傾向にありますものの、中国や新興国経済の減速懸念に加え地政学リスクなど不透明な状況が続いております。国内経済は、設備投資の増加や雇用に改善傾向がみられる中、個人消費も底堅く推移し、全般としては緩やかに回復してきました。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォン市場は高い成長率を維持しております。しかし、成長市場が新興国を中心とした中・低価格品に移り、中国メーカーの台頭が鮮明になるなど各企業間の競争が激化しております。また、パソコン市場は企業向け買い替え需要が下支えしておりますものの、依然として前年を下回る水準で推移するなど、当社電子事業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。

自動車排気系部品業界におきましては、好調な北米及びアジア市場に加え、欧州市場も緩やかに回復していることから、世界の自動車販売は底堅く推移しました。

このような情勢のもと、当社グループでは成長が続くスマートフォン市場への更なる拡販を目指し、経営資源を集中的に投入しております。また、パソコン用パッケージ基板とスマートフォン・タブレット用薄型・小型基板の事業を統合し、技術の融合とともに生産設備の共用化を進めております。さらに、事業の競争力強化を全社方針に掲げ、独自の改善活動をグローバルに展開し、収益基盤の強化に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,346億54百万円と前年同期に比べ、39億4百万円(1.7%)増加しました。営業利益は195億92百万円と前年同期に比べ3億51百万円(1.8%)減少しました。経常利益は255億75百万円と前年同期に比べ3億7百万円(1.2%)増加しました。また、四半期純利益は157億87百万円と前年同期に比べ7億49百万円(4.5%)減少しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ事業におきましては、パソコン用パッケージ基板において、パソコン市場が依然として前年を下回ったことによる影響を受けたものの、スマートフォン・タブレット用パッケージ基板において、新製品の立上げが順調に進んだことから、売上高は、前年同期と比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板におきましては、スマートフォン市場の変化や競合他社との競争激化による影響を受けたものの、前年同期並みの売上となりました。

以上により、電子事業の売上高は1,214億37百万円となり、前年同期に比べ3.3%増加しました。同事業の営業利益は、イビデンエレクトロニクススマレーシア 第2棟立上げの費用を計上したことにより、113億72百万円となり、前年同期に比べ1.3%減少しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルタ（DPF）及び触媒担体保持・シール材は、欧州市場が持ち直すなど世界的に自動車販売が堅調に推移していることから、売上増となりました。また、NOx浄化用触媒担体（SCR）は、自動車用途製品が排ガス規制の端境期であったため、売上減となりました。

特殊炭素製品は、引き続き市場環境が厳しい状況にあるなか、新規顧客拡販に努め、売上は前年同期並みを確保しました。

以上により、セラミック事業の売上高は736億62百万円となり、前年同期に比べ1.3%増加しました。同事業の営業利益は、新製品への移行に伴う影響により、49億9百万円となり、前年同期に比べ13.7%減少しました。

建材事業

化粧板関連販売部門は、住宅向けキッチン加工扉及び不燃化粧板の拡販に努めたことにより、売上は前年同期並みとなりました。

住宅設備機器販売部門は、消費税引上げによる新築需要の減少に加え、太陽光発電システムの販売の減少により、売上減となりました。

以上により、建材事業の売上高は162億94百万円となり、前年同期に比べ10.7%減少しました。同事業の営業損失は3百万円（前年同期は66百万円の営業利益）となりました。

建設事業

法面工事部門は、防災対策関連の公共工事増加により、売上増となりました。

造園工事部門は、大型工事案件が減ったものの、前年同期並みの売上となりました。

以上により、建設事業の売上高は75億47百万円となり、前年同期に比べ7.4%増加しました。同事業の営業利益は6億83百万円となり、前年同期に比べ34.7%増加しました。

その他事業

情報サービス関連部門は、販売網強化による医療用健康診断システムの受注拡大と、民間向け生産・販売システムの大型プロジェクトの受注により、売上増となりました。

石油製品販売部門は、事業者向けでは販売先の増加と販売地域の拡大、個人向けでは集客力の向上により、売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は157億11百万円となり、前年同期に比べ3.6%増加しました。同事業の営業利益は5億26百万円となり、前年同期に比べ40.3%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ710億8百万円増加しました。主な増加としては、現金及び預金が148億77百万円、たな卸資産が60億36百万円、投資有価証券が84億70百万円それぞれ増加しております。

負債では短期借入金が148億44百万円、未払金が79億46百万円、未払法人税等が44億44百万円それぞれ増加しております。また純資産は、主に四半期純利益や為替換算調整勘定が増加したことなどにより398億7百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月30日に公表しておりました連結業績予想のうち、平成27年3月期の通期につきまして業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成27年2月4日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、この変更に伴う影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,170	92,048
受取手形及び売掛金	59,152	64,811
有価証券	15,191	15,196
商品及び製品	14,795	14,521
仕掛品	8,374	12,063
原材料及び貯蔵品	15,468	18,088
繰延税金資産	2,578	2,466
その他	10,025	11,698
貸倒引当金	△494	△335
流動資産合計	202,262	230,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,314	97,029
機械装置及び運搬具(純額)	68,127	84,733
土地	19,114	19,164
リース資産(純額)	2,189	614
建設仮勘定	28,464	36,216
その他(純額)	4,491	5,719
有形固定資産合計	207,702	243,477
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	39,924	48,394
長期貸付金	35	33
繰延税金資産	1,341	1,437
その他	2,766	1,995
貸倒引当金	△393	△411
投資その他の資産合計	43,674	51,449
固定資産合計	259,850	302,561
資産合計	462,113	533,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,452	35,873
短期借入金	18,161	33,005
1年内償還予定の社債	25,000	-
未払金	14,993	22,940
未払法人税等	1,138	5,582
繰延税金負債	15	36
賞与引当金	3,830	1,636
役員賞与引当金	153	-
設備関係支払手形	1,491	1,375
その他	12,156	16,219
流動負債合計	112,392	116,669
固定負債		
社債	15,000	40,000
長期借入金	3,412	3,237
リース債務	545	462
再評価に係る繰延税金負債	157	79
退職給付に係る負債	502	552
繰延税金負債	5,544	8,072
その他	1,994	1,676
固定負債合計	27,158	54,081
負債合計	139,550	170,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,354	68,354
利益剰余金	195,459	207,103
自己株式	△37,110	△37,113
株主資本合計	290,855	302,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,433	17,583
土地再評価差額金	71	148
為替換算調整勘定	16,059	38,231
その他の包括利益累計額合計	27,564	55,964
新株予約権	353	-
少数株主持分	3,789	3,908
純資産合計	322,562	362,370
負債純資産合計	462,113	533,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	230,749	234,654
売上原価	172,684	173,764
売上総利益	58,064	60,889
販売費及び一般管理費	38,120	41,297
営業利益	19,944	19,592
営業外収益		
受取利息	219	275
受取配当金	629	791
為替差益	5,832	5,399
その他	651	1,018
営業外収益合計	7,333	7,484
営業外費用		
支払利息	258	270
設備賃貸費用	8	8
社債発行費	-	103
休止固定資産減価償却費	942	458
その他	800	661
営業外費用合計	2,009	1,502
経常利益	25,267	25,575
特別利益		
固定資産売却益	59	108
投資有価証券売却益	171	-
新株予約権戻入益	563	353
その他	44	-
特別利益合計	839	462
特別損失		
固定資産除却損	307	1,004
減損損失	1,706	670
投資有価証券評価損	2	1
関係会社整理損	501	18
災害による損失	-	173
その他	64	56
特別損失合計	2,582	1,925
税金等調整前四半期純利益	23,524	24,111
法人税等	6,867	8,225
少数株主損益調整前四半期純利益	16,657	15,886
少数株主利益	120	98
四半期純利益	16,537	15,787

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,657	15,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,754	6,184
繰延ヘッジ損益	12	-
土地再評価差額金	-	77
為替換算調整勘定	22,590	22,171
その他の包括利益合計	28,357	28,433
四半期包括利益	45,014	44,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,883	44,187
少数株主に係る四半期包括利益	131	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

特記すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
外部顧客への売上高	117,556	72,749	18,246	7,025	215,577	15,171	230,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	122	5	4,757	4,885	1,709	6,595
計	117,557	72,871	18,251	11,783	220,463	16,881	237,344
セグメント利益	11,524	5,690	66	507	17,789	375	18,164

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,789
「その他」の区分の利益	375
セグメント間取引消去	56
全社費用及び利益(注)	1,723
四半期連結損益計算書の営業利益	19,944

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、1,706百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
外部顧客への売上高	121,437	73,662	16,294	7,547	218,942	15,711	234,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	80	4	3,594	3,700	1,562	5,263
計	121,459	73,742	16,298	11,141	222,642	17,274	239,917
セグメント利益又は 損失(△)	11,372	4,909	△3	683	16,962	526	17,488

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,962
「その他」の区分の利益	526
セグメント間取引消去	84
全社費用及び利益(注)	2,019
四半期連結損益計算書の営業利益	19,592

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、670百万円であります。

(重要な後発事象)

特記すべき事項はありません。